

全校飯盒炊さん

本校の特色ある教育活動のひとつ全校飯盒炊さんが10月1日（火）に行われました。全校330人で行う全校飯盒炊さんは、高学年を中心に準備をしますが、高学年の子たちが大変です。縦割り班で打合せを行い、どんな献立にするか話し合い、それにそって準備をし、当日を迎えました。さすが高学年、今までの経験を活かして、要領よく火をつけ、薪を燃やすことなどすばやく準備ができました。しかし、すばやく食べる準備ができる班、ちょっと時間がかかってやっと食べられる班、いろいろな班がありました。みんな火傷もせず、炊き込みごはんやカレーなど美味しく作り、班で楽しそうに食べていました。高学年の子が下の子たちに教える姿、世話をしている微笑ましい姿がたくさんみられました。



10月校長講話より

10月16日

台風の影響でたくさん雨がふりましたが、みんな元気に学校にこれてよかったです。最初のところでいつものように落ち着ける時間をとります。背筋を伸ばして、（目をつぶって1分）

さあ皆さんの前には、楽器が並んでいます。すぐ音楽会があります。みんな楽しみにしていますね。

この頃朝のあいさつ、みんなあいさつができるようになってきていますね。これからもがんばってできるといいですね。

これは豊野中学校の文化祭、一人一人が切り絵のように貼って大きな絵にしていますね。（スライドで映す）すごいですね。小さな切れ絵を全校の生徒ではって校舎の絵にしました。

今日はそうじの話をしたと思います。どうしてそうじするのか。

1 学校がきれいになる。2 心がきれいになる。学校はみえるけど、心は見えないね。心がみえたことがありますか。心は知らないうちによごれてきてしまいます。学校も何もしないとよごれてしまうように心もよごれてしまいます。いじわるをしたり、悪口をいったり、めんどくさいと思ったり。

よごれた心をきれいにするためにそうじをします。心がきれいになると楽しいことやうれしいことがたくさん起きます。その反対に心がよごれていると悲しいことが起きたりします。

そこで、図書館の本に「ブッタがせんせい」という本がありました。昔ブッタという人としゅりはんどくという人がいて、しゅりはんどくはブッタせんせいの弟子なんです。どんな人だったかという、教えたことをすぐわすれてしまい、なかなか覚えられなかった人でした。そこで、ブッタせんせいはしゅりはんどくにほうきと布をあて、『ちり、あかを払え』と自分に言い聞かせてそうじをきなさい。』と言いました。しゅりはんどくは言われた通りにそうじを続けました。そうじを続けたしゅりはんどくは「ちりやあか」は自分の心のよごれなんだと気付いてさとりをひらきました。しゅりはんどくも先生になっていきました。

よいことはすぐやる。続けること。そうすることで悪い心がおこらない。そんな気持ちで自分の心もきれいになるぞと思って今日からまたそうじをがんばって続けましょう。

響き合う歌声、合奏！

10月23日（水）校内音楽会が行われました。本格的に2週間練習してきた成果をどの学級・学年も発揮して、すばらしい音楽会になりました。全体的に澄んだ歌声が聞こえ、合奏も各楽器がしっかりと演奏をして、上手に響き合う合奏・歌声になっていました。



「ふるさと」をみんなで歌う



6年生の合奏



マーチングバンドの演奏



1年生の演奏



豊野童謡唱歌を歌う会の皆さん



P T A コーラスの皆さん



6年生の育てた大菊咲き始めました